

かしわら見張り番

発行所 かしわら見張り番

代表 はまうら佳子

〒582-0026
柏原市旭ヶ丘2丁目25番25号
電話 072-977-5502
FAX 072-977-8782

あちこちからくる過剰な岡本市長への疑惑！

岡本市長に近い人物が市や関連施設に就職!!
「サンヒル柏原」委託業者は多額の黒字!!
市の経営実態が初年度から大幅の赤字が続いているのは何故!!?

岡本市長とNPO法人理事職が市民や議会の知らないところで市の事業を計画して進めたり、理事職の身内が市役所や市の関連施設で優先的に職に就いていることに疑問の声があがっている。また、サンヒル柏原では委託の特定業者が異常に高い利益を得ているのに、市の経営は初年度から実質大幅の赤字経営が続いているのは何故か? 市長周辺には相変わらず、なにやら「あやしい匂い」が漂っているのだ!?

岡本市長とNPO法人

「柏原ふる里づくりの会」

副理事長との限りなく怪しい? 関係

市民の大反対にあった「イノシシ処理場問題」、ほとんど誰も来ない「竜田古道・里山公園の整備」など、なにかと話題になるNPO法人「柏原ふる里づくりの会」。実権を握る立場にあるのが、副理事長のY氏である。

岡本市長の専決は背任行為!!?

Y氏はかつて、市立柏原病院に入院していたことがあり、そのとき、医療ミスを起こさ

限は100万円以下というきまりがあるのだ。そもそも損害賠償保険金1500万円のほかに、この別枠の500万円を支払う必要があったのか? この問題では、当時、市民の間でも疑問の声があがっていたという。中川前副市長がやめたのも、Y氏のことがきっかけといわれている。岡本市長は市政に都合が生じたのか、中川前副市長を通じてY氏をNPO法人「柏原ふる里づくりの会」の副理事としたが、Y氏がしやうとしたが、Y氏がこの決定に怒りをあらわにした。岡本市長はまるで何かの弱みを握られているようなあわてぶりだ、その解任を撤回したということが、各方面から噂されている。

中川前副市長が突然の辞職をしたことについては未だにその理由

議会は市長の足かせに!

議員は、あくまでも野党的でないといけない。いつも「これは正しいのか」と、市長がしたことチェックをするのが、議員の仕事 (元気の出るコラムより一部抜粋)



が説明されていないが、この件がきっかけとなったのか、Y氏に解任の旨を伝えにいった中川氏が、反対に副市長の任を投げ出しているのである。中川氏が突然に辞職をせざるを得なかったのかは今も疑問が残ったままである。柏原市のNPO法人では、刺青を入れた人物が理事職に就いているという。まさに、何でもありの岡本市政である。

次に、問題になるのが「サンヒル柏原」である。平成21年に社会保険庁から買い取った。「私は数字に強いから、まちがいない黒字経営で市民のいのちの場にする」と岡本市長は豪語したが、実態は正反対、今年まで社保庁の補助金があり、なんと1400万円の黒字だが、来年からは赤字に転じることは必須である。そもそも、3億いくらかで売りに出された物件を、5億1500万円という高値で落札したという。こんな高値で入札したのは柏原市だけ、相場知らずというかそこからもう

お粗末である。それから経営である。レストランの委託業者に22年度に材料費として、約2億4100万円支払っている。(デニススクールの委託料含む)。食料の売上は、約2億3900万円であるのだから、材料費は1億9000万円程ではないか? 市長は、本会議で柏原市は損しない、するのは委託業者だという答弁をした。しかし、食料部門の売り上げの8割が委託業者、あと2割が柏原市では、採算は合わないのではなかろうか? 東京の大手ホテルの支配人に尋ねると通常は2割から6割程度だという。その支配人いわく「それだったら、うちがはいりたい」という厚遇である。

今年は、約3億7000万円の売上のうち、委託業者に材料費として約2億4100万。そして約2億4100万の負担である。常識的には考えられない、この高値の材料費、市長と委託業者の間に、何か関係があるのだから、おかしい。サンヒル柏原には光熱費、施設修繕費のほか支配人含め13人のスタッフの人員費がかかる。スタッフの一人は前述のY氏の配偶者である。また、サンヒル柏原は柏原市健康推進財団が運営しているが、この理事のほとんどといっていいほど岡本市長の息のかかった人である。例のイノシシ(有害鳥獣駆除)施設設置についても何ら反対意見がなかったと聞いている。

広報を使って、サンヒル柏原の宣伝に励んでいるが、市の一施設ばかりの宣伝をするのは、他の飲食業者へのいじめだと、一部業者が怒りをあらわにしている。

わけのわからない医療ミスの高額賠償金、常識外れのサンヒル柏原での業者への支払い、市長周辺には、不透明なお金の流れが多い。これからも市長の動きから目を離してはならない。